

# 令和2年度 AI/IoT技術を活用した ロボット開発人材育成実践セミナー

## 成果発表会



埼玉県マスコット「コバトン」



Saitama University  
埼玉大学

- ◆日時  
令和3年3月4日(木)  
14:00~17:00
- ◆会場  
Zoomによる  
オンライン開催

### ロボット開発人材育成実践セミナーのこれまでの取り組み

埼玉大学 先端産業国際ラボラトリー所長 綿貫 啓一

#### Aグループ 「SaO<sub>2</sub>パックン」

コロナ患者の重症化を管理・監視するため、患者のところまで自走しAIの画像認識で対象者の手を検出後、パルスオキシメータで指を挟みSaO<sub>2</sub>を測定する人にやさしいロボット。

大西 貴・金田 大介・谷口 修平・森田 朝子

#### Bグループ 「ロボット開発サポートロボット、AIの手(合いの手)」

弊社開発中の『微小ねじ締めロボット』の開発を加速するため、必要な合いの手を入れてくれるアーム型ロボット。3次元形状ワークの姿勢制御や、ねじ頭/ねじ穴判別画像処理機械学習のデータ取りを効率的に行い、AIを使った高精度なねじ締めを目指します。

富田 保土・グエンヴァントイ・比良 美穂・平田 寿寛・吉岡 成典

#### Cグループ 「画像認識技術を用いたAGV(Automated guided vehicle)」

画像認識による自動運搬ロボット。ルート内にあるマークを識別し、画像認識を行いながら目的地まで移動します。目的地に到着したら移動完了メールを送信します。

木村 晴海・小川原 伸行・金子 雄哉・檜皮 恭平・向井 俊明

#### Dグループ 「ガスターウインロボット」

ガスセンサでガスを検知したら、ブザーで警告、メールを送信、Depthカメラで窓の方向、位置、距離を測り、障害物があれば超音波センサで回避します。オムニホイールは安全な速度で安全にアーム型ロボットを運びます。アーム型ロボットを使えば、段差を乗り越え、窓を開けられるようになります。

藤井 重憲・串田 聡・中井 健二・古川 貴大・村田 達弥

# 成果発表表

# 講評

司会：埼玉大学先端産業国際ラボラトリー

所長 綿貫 啓一

株式会社タムロン

取締役副社長 桜庭 省吾氏

埼玉大学

名誉教授 佐藤 勇一氏

株式会社朝日ラバー

代表取締役社長 渡邊 陽一郎氏

株式会社ソーケンメディカル

代表取締役 石渡 弘美氏

一般社団法人首都圏産業活性化協会

八木 誠氏

# 修了書授与

# 成果発表会

## 申込方法

下記のいずれかの方法でお申し込みください。

■右のQRコードからお申し込み→

■メールに必要事項【貴社名/所属・役職/氏名/  
電話番号/メールアドレス】をご記入いただき、  
下記アドレスまでお申し込み



## 申込期限

令和3年2月25日(木)

## 参加方法

オンラインによるセミナー形式で開催いたします。  
お申込みいただいた皆様のメールアドレスに、  
Zoomウェビナーの参加方法についてお送りいたします。

参加方法についてご不明な点等ございましたら問合せ先まで  
ご連絡ください。

## 問合せ先

埼玉大学先端産業国際ラボトリー  
担当:新井・久保田  
TEL.048-714-2038 FAX.048-858-9419  
E-mail: robo@gr.saitama-u.ac.jp

